

# 津大豆ニュース

## ～平成 29 年産第 2 報～



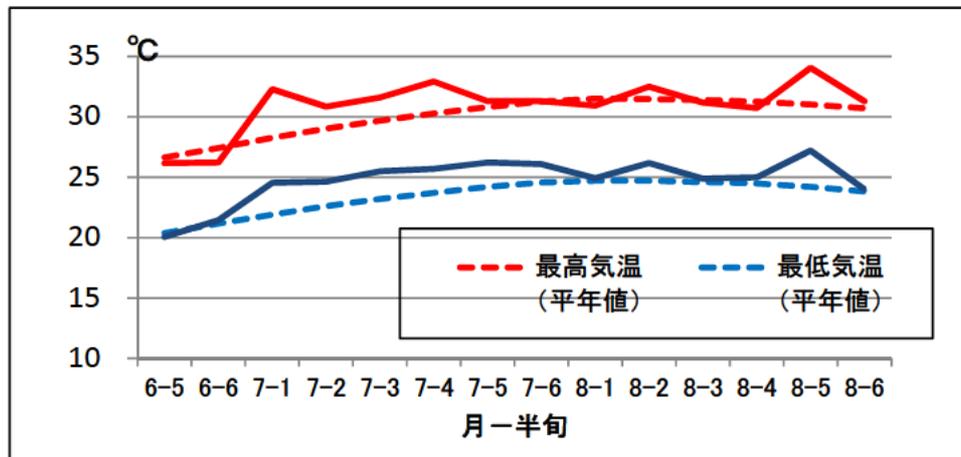
平成 29 年 9 月 5 日

津地域農業改良普及センター TEL : 059-223-5103

### 気象経過

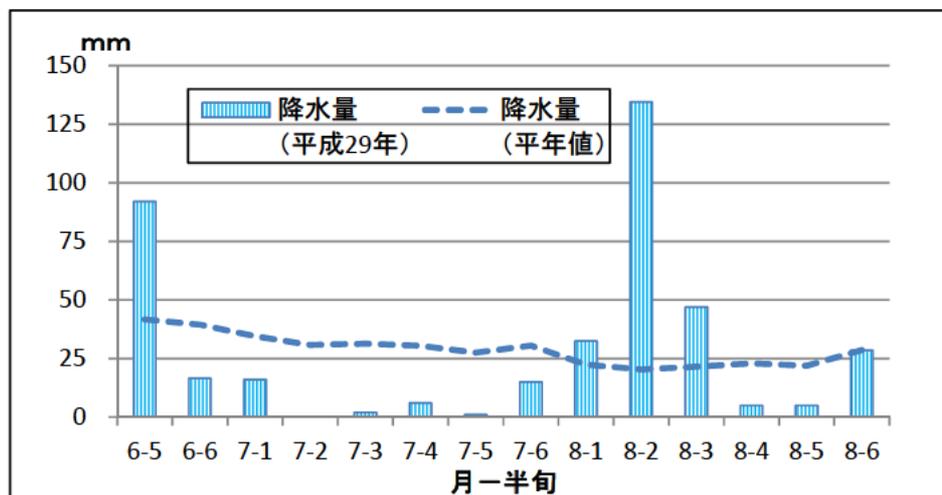
#### 気温

7月は最高気温、最低気温とも平年に比べ高く経過しました。8月に入り気温はほぼ平年並みとなりましたが、第5半旬は高くなりました。



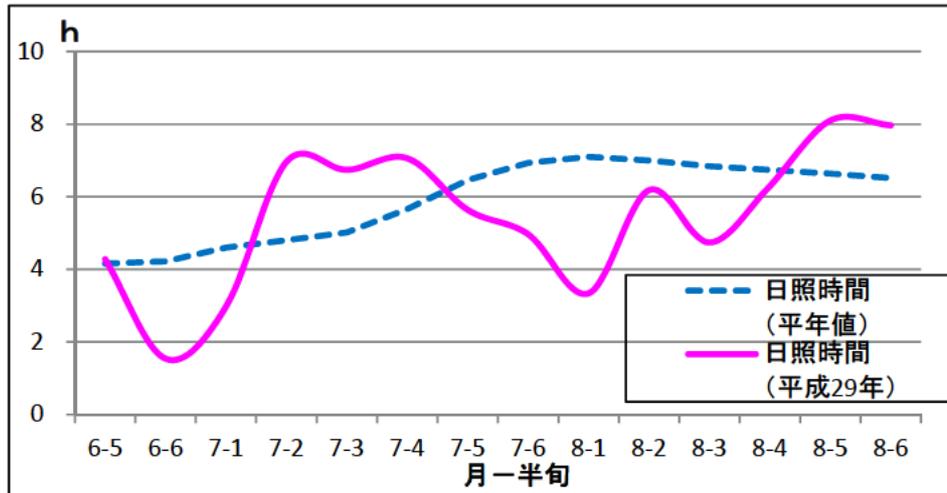
#### 降水量

7月は平年の2割ほどと降水量は非常に少なくなりましたが、8月は台風5号の影響があり反対に平年の184%の降水量がありました。



## 日照時間

7月はほぼ平年並みの日照時間でありましたが、ぐずついた天気が多かったです。その後、8月第5半旬まではやや日照不足に経過し、日照時間は平年に対し90%となりました。



## 生育状況

### 生育状況

播種は6月末から始まり、7月末までにほぼ終了しました。降水量が少なく出芽・苗立ちは比較的に良好です。8月に入り台風5号による降雨で、排水条件の悪いほ場では畝間の停滞水により部分的に葉の黄化、生育不良が見られます。また、中耕培土が遅れているほ場が多いです。また、帰化アサガオ類、ホオズキ類、ホソアオゲイトウ、クサネム等が蔓延しているほ場が散見されます。

病害虫として、ハスモンヨトウは現在のところ見られませんが、カンキツヒメヨコバイによる葉の萎縮が1haずつ3か所で発生しています。開花は早いところで8月20日頃から始まり、8月末の生育量としては平年並み以上です。

○生育基準ほの生育調査結果				【平成29年8月31日現在】		
品種	調査時点	栽培様式	播種日	草丈 (cm)	分枝数 (本)	主茎葉数 (L)
フクユタカ	一志町	中耕培土	7月2日	89.1	4.3	12.1
	安濃町	狭畦	7月13日	92.8	2.5	12.3

## 今後の管理

### 雑草管理

帰化アサガオ類、ホオズキ類、ホソアオゲイトウ等の強害雑草の発生が増加

しています。これらの強害雑草は、収穫作業に影響を及ぼすとともに、汚粒や異物混入の発生の原因となり、品質が低下しますので、出来るだけ手で抜いてから収穫を行うようにしましょう。また、実需者より数珠玉混入のクレームがありましたので、同様に収穫前に抜き取るなどして混入防止を徹底しましょう（色彩選別機でも除去できません）。



数珠玉の種子（写真真ん中）

### 病害虫対策

今年、ハスモンヨトウの発生は遅れていますが、白変葉を確認次第、適時に防除をしましょう。

ミナミアオカメムシ等の吸汁性カメムシ類の発生が増加しています。吸汁性カメムシ類は大豆の子実を吸汁し、奇形粒の発生や不稔等大きな減収並びに品質低下の原因となります。被害は、適期に薬剤散布による防除を行うことで抑えられます（9月中旬と10月上旬の2回防除を行うと効果的です）。

### 収穫

子実水分18%以下、茎水分50%以下となったときが収穫適期となります。早刈りは乾燥に時間がかかり、汚粒の発生が多くなります。また、刈遅れると収穫時のロスが増えるとともに裂莢しやすくなり、収量・品質低下の原因となりますので、適期に収穫しましょう。収穫作業は、朝露が乾く、午前9時頃～午後4時頃までとしましょう。

### 生育予測

#### 大豆生育予測

【平成29年9月1日現在】

品種	播種日	開花期 (平年との差)	成熟期 (平年との差)
フクユタカ	7月1日	8月19日 (0.6日早い)	11月6日 (0.1日早い)
	7月15日	8月27日 (0.3日早い)	11月11日 (0.6日早い)
	7月30日	9月6日 (0.1日早い)	11月18日 (0.8日早い)

三重県農業研究所作成の生育予測システムVer9.2による予測です。

気象庁アメダス津観測地点データ(直近10ヶ年の平均気温)を使用しています。